



各 位

NPO 放送批評懇談会

発表!! 第 3 弾 第 60 回ギャラクシー賞

マイベストTV賞グランプリ

平素は放送批評懇談会にご理解とご支援をいただきありがとうございます。

テレビ、ラジオ、CMの作品、制作者、関係者に贈る賞として 60 年の歴史を誇る「ギャラクシー賞」。

「マイベストTV賞グランプリ」を発表いたします。

貴誌／紙、貴メディアでのご紹介をお願いいたします。

贈賞式は、5 月 31 日（水）に開催予定です。

贈賞式は放送批評懇談会 YouTube 公式チャンネルでライブ配信を行います。

第 60 回ギャラクシー賞贈賞式 YouTube ライブ配信

日時：5 月 31 日（水）午後 3 時～5 時 30 分（15:00-17:30）

司会：ジョン・カビラ 長野智子

放送批評懇談会 YouTube 公式チャンネル

<https://www.youtube.com/HOUKONchannel>



※上記 YouTube 公式チャンネルでは、過去のギャラクシー賞受賞ドキュメンタリー作品の再生リストを掲載中です。



視聴者参加型のギャラクシー賞

テレビ マイベストTV賞グランプリ

マイベストTV賞 第17回グランプリ

ドラマイズム「美しい彼」(シーズン2)

毎日放送

視聴者の評価、満足や感動の気持ちを、投票によって形にしたマイベストTV賞。第17回のグランプリに輝いたのは、毎日放送のドラマイズム「美しい彼」(シーズン2)。シーズン1から続く物語で、少しずつ大人になっていく青年ふたりの同棲生活が描かれた青春ドラマです。物語だけでなく味わいのある映像と役者の精細な演技も素晴らしく、視聴者の熱い支持を集め、昨年度に続いて2年連続でグランプリに選出されました。投票では「恋するふたりが直面する新たな問題とそれを乗り越えていこうとするさまに心奪われた」「素晴らしい映像、脚本と、息ぴったりだった主演ふたりのケミストリー」「“続きは劇場版で”といった感じはなく、四話でしっかりと完結し、観たあとに幸せな気分になった」など、視聴者の賞賛の声が数多く寄せられました。

解説

マイベストTV賞に参加した「オンライン会員 Gメンバー」は、2023年4月26日現在で882名。これに放送批評懇談会の正会員195名が加わり投票にあたった。

年間のグランプリは、2022年4月度から2023年3月度まで投票によって毎月決められたノミネート作41本の中から、最大5本までを投票するという方法で決められた。

グランプリに選ばれたのは、毎日放送のドラマイズム「美しい彼」(シーズン2)。“大切なものであればあるほど、それを保ち続けるには理解し合う努力が欠かせないことを改めて認識させてくれた素敵な物語”“ふたりのもどかしい関係に焦らされ、最後のシーンではもだえ、やられた!と感じた”といったコメントが寄せられ、投票者の幅広い支持を集めた。

第2位は日本テレビの土曜ドラマ「初恋の悪魔」。“コメディタッチのミステリーかと思っていたが、次第にヒューマンドラマの趣が強くなりぐんぐん引き込まれていった”“演技派揃いのキャストたちのセリフのひと言ひと言に胸が震えた”と坂元裕二の脚本と俳優陣の演技に高い評価が集まった。

第3位はテレビ朝日の「タモリ倶楽部」。“深夜ならではのゆるい感じが最終回まで続いた”“さまざまな分野の面白いことを教えてくれた番組”など、長年の功績を称えるコメントが数多く寄せられた。

今年度のグランプリ投票も、視聴者の熱い思いが詰まったテレビ番組が上位を占める結果となった。一方で、「ネット配信ドラマ」を対象に“特別投票”を実施してノミネート作に加えるなど、より幅広い声を反映する試みも導入された。

来年度も同様の方式によって年間のグランプリを決定予定。



最終投票結果

第 1 位	ドラマイズム「美しい彼」(シーズン 2)(毎日放送)	402 票
第 2 位	土曜ドラマ「初恋の悪魔」(日本テレビ)	221 票
第 3 位	タモリ倶楽部(テレビ朝日)	204 票
第 4 位	エルピスー希望、あるいは災いー(関西テレビ)	194 票
第 5 位	日曜ドラマ「ブラッシュアップライフ」(日本テレビ)	166 票
第 6 位	ドラマ 10「大奥」(NHK)	101 票
第 7 位	木曜劇場「silent」(フジテレビ)	97 票
第 8 位	夜ドラ「あなたのブツが、ここに」(NHK)	89 票
第 9 位	100 カメ「鎌倉殿の 13 人」(NHK)	88 票
第 10 位	金曜ドラマ「石子と羽男—そんなことで訴えます?—」(TBS テレビ)	87 票

参考

★どんな賞?

「ギャラクシー賞マイベストTV賞」は、放送批評懇談会がNPO(特定非営利活動法人)になったことを節目として創設されました。

視聴者はどんな番組を評価し、どんな番組を愛好しているのでしょうか。放送局や放送の作り手には、視聴者の声が届きにくいのが現実でした。とくに、「よかった」「素晴らしかった」といった推奨の声はなかなか形になって表れません。視聴者の評価の声を形にしたい、視聴者の気持ちを放送局や制作者に届けたい——そんな思いから生まれたのが、「ギャラクシー賞マイベストTV賞」です。

★賞の本数、対象年度、賞の仕組み

ギャラクシー賞マイベストTV賞グランプリ 1本

年度(4月~翌年3月)ごとの日本国内で放送されたテレビ番組が対象

※今年度は特別投票「ネット配信ドラマ」にノミネートされた3本も対象

審査員は放送批評懇談会正会員とオンライン会員Gメンバー。選出は放送批評懇談会の会員サイトの投票で行う。毎月の候補番組は放送批評懇談会で制定。会員は毎月1回、候補番組の中から5本まで選んで投票。得票の多かった3本が月間ノミネート番組に選出される(投票の経過・結果はWebで発表)。1年間に選出された月間ノミネート番組から、年間のベスト番組5本を選んで投票。もっとも多くの支持を獲得した番組1本が、<ギャラクシー賞マイベストTV賞グランプリ>に選出される。

★オンライン会員Gメンバーとは?

「放送批評懇談会 オンライン会員 Gメンバー」は、放送批評懇談会の活動に参加する「準会員制度」として、2016年5月にスタートした。会費は年額1,000円。

Gメンバーは「ギャラクシー賞マイベストTV賞」選出に参加し、番組への意見や感想を、テレビ・ラジオの制作者に発信する。月刊誌「GALAC」の簡易電子版を購読できるほか、放送批評懇談会が主催するセミナーなどに特別料金で参加できる特典なども用意されている。

放送批評懇談会60周年記念賞

タモリ

志賀信夫賞

岡崎 栄

フロンティア賞

「FIFA ワールドカップ カタール 2022」生中継

AbemaTV テレビ朝日

マイベストTV賞 第17回グランプリ

ドラマイズム「美しい彼」(シーズン2)

毎日放送

テレビ部門

連続テレビ小説「カムカムエヴリバディ」

日本放送協会

BS1スペシャル「正義の行方～飯塚事件 30年後の迷宮～」

日本放送協会

チャンネル4「人生の湯～黄昏時のぬくもり～」

テレビ信州

OTV報道スペシャル「水どう宝」

沖縄テレビ放送

ウムイツむぐ～着物が語る“やんばるの戦”～

琉球放送

報道1930「激震・旧統一教会と日本政治 問われる政治との距離感は」

BS-TBS

夜ドラ「あなたのブツが、ここに」

日本放送協会

声は届くのか～秘蔵フィルムが映し出す 1969新宿西口地下広場～

日本放送協会 \\\film&media

大河ドラマ「鎌倉殿の13人」

日本放送協会

エルビスー希望、あるいは災いー

関西テレビ放送

「サンドウィッチマン&芦田愛菜の博士ちゃん」新春3時間SP

テレビ朝日

日曜ドラマ「ブラッシュアップライフ」

日本テレビ放送網

世界サブカルチャー史 欲望の系譜 シーズン3「日本 逆説の60-90s」

日本放送協会 NHKエンタープライズ テレビマンユニオン

映像'23「バッシング 陰謀論と情報戦」

毎日放送

特別賞

「映像の世紀バタフライエフェクト」

日本放送協会

個人賞

長澤まさみ

「エルビスー希望、あるいは災いー」(関西テレビ)の演技、大河ドラマ「鎌倉殿の13人」(NHK)のナレーション

報道活動部門

新型コロナワクチンの副反応問題に関する調査報道

CBCテレビ

NEWS6 旧統一教会をめぐる調査報道

チューリップテレビ

報道特集「旧統一教会と政治」など旧統一教会をめぐる検証報道

TBSテレビ

NHK 精神医療の実態に迫る一連の調査報道

日本放送協会

ドキュメンタリー素材を平和教材として活用

広島テレビ放送

【QAB】米軍の環境汚染問題に関する2011年からの一連の報道

琉球朝日放送

ラジオ部門

復帰50周年特別番組「オキナワミュージックカンブリア」

エフエム沖縄

講談風大河ラジオドラマ「弁慶記」

FM TANABE

SBCラジオスペシャル「『黒猫』田口史人のレコード寄席～『昭和の校長先生』編」

信越放送

ドキュメント「荻上チキが見たウクライナ～見過ごされる声に耳を傾けて」

TBSラジオ

仲谷一志・下田文代のよなおし堂

RKB毎日放送

ジェーン・スー 生活は踊る

TBSラジオ

RBCiラジオスペシャル「ダニーボーイ・齋藤梯子、ジャズと生きる」

琉球放送

サンドウィッチマン ザ・ラジオショーサタデー

ニッポン放送

DJパーソナリティ賞

安住紳一郎

「安住紳一郎の日曜天国」(TBSラジオ)パーソナリティとして

CM部門

テレビCM

ACジャパン 2022AC全国キャンペーンA「寛容ラブ篇」

AC ジャパン 東急エージェンシー関西支社 高映企画

大塚製薬 カロリーメイト「狭い広い世界で篇」

大塚製薬 博報堂 catch ENOAD AOI Pro.

サントリーホールディングス 企業 シリーズ 人生には、飲食店がいる。「メッセージ篇」「不思議な場所篇」「人と篇」

サントリーホールディングス 電通 電通クリエイティブ X

セールスフォース・ジャパン 企業「失敗の数篇」

セールスフォース・ジャパン 電通 AOI Pro.

東海テレビ放送 公共キャンペーン・スポット「生理を、ひめごとにしない。」

東海テレビ放送 東海テレビプロダクション エキスプレス プラモ 東海サウンド

東海旅客鉄道 企業「会いにいく、が今日を変えていく。」

東海旅客鉄道 電通 ジェイアール東海エージェンシー SUPERMARKET

日清食品ホールディングス 日清焼そばU.F.O.「そろ谷U.F.O.食べたやる篇」

日清食品ホールディングス 電通 ソーダコミュニケーションズ

日本放送協会 非常用持ち出し袋 シリーズ「日常は、ひょう変する。」

日本放送協会 電通

日本マクドナルド Family Brand 家族といっしょに。「ピクルスのリレー篇」

日本マクドナルド TBWA HAKUHODO Catch コネクション Headlight

ラジオCM

中央軒 企業「記者会軒篇」

中央軒 朝日放送ラジオ ビッグフェイス

ウェブCM

大塚製薬 カロリーメイト「入学から、この世界だった僕たちへ。」

大塚製薬 博報堂 AOI Pro.

佐賀県競馬組合 佐賀競馬場移転開設50周年事業「おいでやすこが様をうまてなし。」

佐賀県競馬組合 電通九州 casaage

日本マクドナルド マックフライポテト「ティロリミックス | Ado『踊』× asmi『PAKU』」

日本マクドナルド 電通 ギークビクチュアズ

●テレビ部門は上記ノミネート14本から、大賞1本、優秀賞3本、選奨10本が選出されます。●ラジオ部門は上記ノミネート8本から、大賞1本、優秀賞3本、選奨4本が選出されます。●CM部門は上記ノミネート13本から、大賞1本、優秀賞3本、選奨9本が選出されます。●報道活動部門は上記ノミネート6本から、大賞1本、優秀賞2本、選奨3本が選出されます。●最終選考の結果は、5月31日(水)開催『第60回ギャラクシー賞贈賞式』で発表、表彰されます。●テレビ、ラジオのノミネートは放送日順、CMは広告主企業名五十音順、報道活動は申込社(者)名五十音順に記載。●詳しい結果は6月6日(火)発売の「GALAC」2023年7月号に記載いたしますので、ご覧ください。



ギャラクシー賞の概要

◆歴史および概要◆

1963年、放送草創期のこの時期に、テレビとラジオの可能性、影響力に着目し、その発展には必ず“批評”の力が必要であると考えた評論家、研究者、ジャーナリスト、作家らの有志によって創設された放送批評懇談会。ギャラクシー賞は、志ある番組を掘り起こし、制作者たちの番組作りへの情熱に光を当てて顕彰することで現場を鼓舞し、番組の向上・発展を促すことを目的に誕生した。民間の自主的意思を基盤として創設された放送賞の第一号である。表彰は年度単位。

「ギャラクシー」とは、天の川、銀河という訳のほか、佳人・才子の華やかな群れという意味を持つ。放送界にきらめく才能を表すのにふさわしいものとして、放送批評懇談会設立の核となった渋谷秀雄、内村直也、梅田晴夫そして初代のトロフィーをデザインしたガラス作家・岩田糸子らによって賞の名に選ばれた。ギャラクシー賞は第50回（2013年）を記念してトロフィーを一新。松永真デザインの「バードマン」が新しい賞のシンボルとなった。

◆賞の特徴◆

ギャラクシー賞設立時には、すでにいくつかの放送賞が存在したが、その多くは「コンクール用に盛装を凝らしたものを対象にした記念行事」（故・白井隆二）だった。白井らは、テレビやラジオが日常に根ざした媒体であることを強く意識し、年間を通じてテレビを視聴しラジオを聴いて番組を批評することを賞の大前提に掲げた。その志は現在まで貫かれ、放送批評懇談会正会員の自主的な視聴活動が賞の土台となっている。

テレビ部門では、審査を担当する選奨委員により月評会が開催され、月間賞が選出されている。他部門も定例会を持ち番組・作品を論じ合う。これらの内容は毎月、月刊誌「GALAC／ぎゃらく」に掲載される。こうした活動により、“放送の現在に向き合う賞”として独自の地歩を固めている。

◆審査と表彰◆

時代性に優れ、ジャーナリスティックな感覚を持ちえていること、かつ作品として普遍的な力量を備えていることの二点が選考の柱。

放送批評懇談会正会員によって組織する選奨事業委員会が審査を担当。審査は、年2回（上期・下期）、エントリー作品を受け付けて行う。上期・下期で選出された作品を対象に年間の最終選考がおこなわれ、各賞を決定する。

表彰式は、毎年5月下旬～6月初旬に行われる。受賞者には、トロフィーと表彰状が授与される。



◆賞の内容◆

- 【テレビ部門】大賞 1、優秀賞 3、選奨 10、特別賞 1、個人賞 1
- 【ラジオ部門】大賞 1、優秀賞 3、選奨 4、個人賞またはDJパーソナリティ賞 1
- 【CM部門】大賞 1、優秀賞 3、選奨 9
- 【報道活動部門】大賞 1、優秀賞 2、選奨 3
- 【その他】志賀信夫賞 1、フロンティア賞 1、マイベストTV賞グランプリ 1
(上記のほか、周年には記念賞を設ける場合がある。)

<志賀信夫賞>

放送批評懇談会の発展に寄与した放送評論家・志賀信夫の功績をたたえるために、2009 年度（第 47 回）創設。広く放送界の発展、放送文化の向上に貢献した人物等を表彰する。放送批評懇談会正会員の推薦を元に出す。

<フロンティア賞>

放送界の未来を切り拓く挑戦を果たした番組、仕組み等を顕彰する。2015 年度（第 53 回）創設。

<マイベストTV賞>

視聴者の参加により選ばれるテレビ番組賞で、2006 年度（第 44 回）創設。放送批評懇談会選奨事業委員会が候補番組を選定し、これを毎月、放送批評懇談会正会員と「Gメンバー」（視聴者によって構成される放送批評懇談会のオンライン会員）が投票して選出される。年間で最も得票を得たものが「マイベストTV賞グランプリ」として表彰される。

◆沿革◆

- 1963 年度（表彰は 1964 年）ギャラクシー賞誕生、第 1 回。
- 1989 年度 第 27 回、ラジオ部門独立。
- 1993 年度 第 31 回、ラジオ部門に「DJパーソナリティ賞」新設。
- 1995 年度 第 33 回、CM部門設立。
- 2002 年度 第 40 回、報道活動部門設立。
- 2006 年度 第 44 回、視聴者が選考に参加する「マイベストTV賞」を新設。
- 2009 年度 第 47 回、「志賀信夫賞」を新設。
- 2015 年度 第 53 回、テレビ部門にテレビの新しいチャレンジを応援する「フロンティア賞」を新設。

●放送批評懇談会について：1963 年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行っています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース（<https://houkon.jp/galaxy-database/>）」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

以上